

船を漕ぐ



令和4年11月15日(火)

☆神足っ子 全員で創り上げた 運動会☆

今年度も徒競走、競技、演技と3つの種目に取り組みました。コロナ禍において行事の在り方が少しずつ変化していく中ではありますが、同学年の友達や異学年とのつながりを感じながら、子どもたち同士で考え、支え合う過程を大切にしていることは変わりません。

* * 子どもたちの感想を紹介します * * *

うんどう会では、どの学年もおどったり組体そうをしたりしていて、とてもかっこよかったです。
2年生は、がんばってみんなにかっこいいダンスを見せることができたと思います。
台風の目では、作せんを立ててすっごくがんばったら、1いとれました。うれしかったです。 <2年児童>

50メートルそうが たのしかったです。なぜかというほいくえんの時より ひろいうんどうじょうで いっぱいはしることができたからです。 <1年児童>

おどりリーダーさんがみんなに教えてくれたおかげで上手になったと思うし、休み時間にたくさん練習し、みんなが本気でがんばることができたと思います。テストで合格できなくて泣いていた人もいて、それだけ本気なのだと思いました。
毎年、運動会をやるたびにみんなで成長して、去年より良い演技ができていくので、それがいいなと思います。トラブルを乗り越えて成長できたところが4-1の良さだと思いました。 <4年児童>

花笠のこしを下げるところがいつもより下げられていて、嬉しい気持ちになりました。みんなで乗り越えられて嬉しい気持ちになりました。がんばって良かったです。4年生の「よっちょれ」はスピードが速くて、次は自分たちがあの速さで踊るのだと思いました。「すごくうまい!」と言われるように、来年も頑張ろうと思いました。 <3年児童>

この運動会を通して、学年目標の Next Stage に近づいてきて、メリハリがつき協力できる学年になったのではないかと思います。初めてソーラン節を見たときは、「こんな踊り、できるのかな。」と少し心配になりました。でも、踊りリーダーに教えてもらいながら少しずつできるようになりました。一番大変だった櫓漕ぎ移動も、どんどん音楽に合わせて移動できるようになって、本番が楽しみになりました。(中略)本番は、今までの練習の成果を存分に発揮できたのではないかと思います。1年生は初めての運動会なのに、長い時間を頑張って踊り切っていたし、6年生は、他の学年よりも長い時間を最後まで息ぴったりで踊っていたので、僕も来年あんな風になれたらいいと思いました。来年の運動会も6年間で一番の演技がしたいです。 <5年児童>

組体操では、練習時に色々な人と関わって、「一緒に練習しよう。」「ここってどうするの?」と助け合いがあってここまですることができました。花笠、鳴子、ロックソーランの部分は、当時を思い出しながら、振り付けをグループで創造しました。今までお世話になった先生方や、地域の方、保護者の方々に、「ここまで成長したんだ。」と思ってもらえたらいいなと思いました。(中略)5年生からは、演技の最後にメッセージをもらってとても嬉しかったです。自分たちの演技時間なのに、私たちのために時間を使ってくれたのは、「6年生らしく学校をまとめてほしい。最後まで走り抜けてほしい。」という思いがあったのではないかなと私は思います。低学年に憧れられ、目標を作って進んでいくのが、6年生の在り方なのではないかと思いました。5年生からパワーももらったので、これからあと半年、自分たちらしく学校を変えていき、149回目の6年生はこんな事をしていたんだよとみんなに伝えたいし、このことを下級生たちにバトンのように渡していきたいなと思いました。 <6年児童>



学年コーナー 1年生



どんなことでもチャレンジ

入学して半年が過ぎ、色々なことを経験しました。初めてやることばかりで、戸惑うこともあります。が、「まずはチャレンジしてみる!!」を合言葉に色々なことに挑戦しています。



泥遊びをしたら、どろだらけになったけど、楽しかったよ!!

初めての運動会は、大変だったけど、がんばったよ!!



学級会でいいクラスにするための方法を考えたよ!!

神足小が目指す児童像（至誠・進取・敬愛）に向け、どのような取組を行っているのか、「研究だより」を通してお伝えしていきます。児童・教師・保護者の方々が“心と力を合わせて一緒に櫓を漕ぐ”ことができますように。